

|             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 氏 名         | 細 野 誠 之                               |
|             | はそ の せい じ                             |
| 学 位 の 種 類   | 農 学 博 士                               |
| 学 位 記 番 号   | 論 農 博 第 259 号                         |
| 学位授与の日付     | 昭 和 45 年 1 月 23 日                     |
| 学位授与の要件     | 学 位 規 則 第 5 条 第 2 項 該 当               |
| 学 位 論 文 題 目 | 子牛価格の地域格差に関する研究<br>—特に市場開設者の役割を中心として— |

論文調査委員 (主 査) 教 授 柏 祐 賢 教 授 上 坂 章 次 教 授 岸 根 卓 郎

### 論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、子牛の主産地間に存在している価格の地域間格差に着目し、その由ってきたる所以を明らかにし、流通機構の合理化に資することを意図してなされた研究結果をとりまとめたものである。

著者は、和牛の主要生産地域である中国、九州および東北の三地域について、産地小牛価格の地域間格差の実態を主要生産府県別、郡市別および市場開設者別に調査し、その地域間格差の生ずる原因について考察し、進んで市場開設者の価格形成過程において果たす役割について分析している。

その結果、一般に小牛価格は中国、近畿の生産地においては、全国平均より高く、東北、九州の生産地においてはより低いことが明らかにされた。また、中国、近畿地方の府県間においては（兵庫県を別にすれば）小牛価格にあまり大きな差は認められないが、各県内の主要産地である郡間においては、かなり大きな格差のあることが確かめられた。

なお、価格形成において重要な役割りを果たしていると考えられる市場開設者は、現在、郡畜協（郡畜産農業協同組合）、郡畜連（郡畜産農業協同組合連合会）および経済連（県経済農業協同組合連合会）の三つであるが、小牛価格は一般に郡畜連が市場開設者であるところでは高く、郡畜協が市場開設者であるところでは低いこと判明した。また経済連が市場開設者である地方では、流通の合理化が進んでいるが、子牛価格は郡畜連が市場開設者である地方に比べて必ずしも高くないことが明らかにされた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

著者は、「前近代取引」の支配している和牛の流通機構について長期間研究してきたが、とくに子牛価格に見られる著しい地域間格差に着目し、その実態を詳しく調査するとともに、その原因を追究し、さらに進んで子牛価格の形成に対して家畜市場開設者の果たしている役割りについて明瞭にしてきた。本論文はそれらの研究成果をとりまとめたものである。

著者は、まず子牛価格の地域間格差成立の要因を、商品側、需要側、供給側および市場構造側に分けて

詳細に考察するとともに、とくに市場開設者の機能を詳しく分析し、それが価格形成に対していかなる作用を持つかを深く追究している。

市場開設者は、現在においては、郡畜協、郡畜連および県経済連の三に分けられるが、著者によれば、この三つは、それぞれにかなり違ったはたらきをしており、したがってそれら開設者の地域的分布状態が子牛価格の地域間格差に大きく影響していることが明らかにされた。

このように本論文は、子牛価格の地域間格差成立の要因を分析し、ことに価格形成に対して果たす市場開設者の役割りを深く追究したものであり、現今、喫緊の要事とされている家畜市場合理化のための一つの基礎作りをしたものであって、農業経済学の発展に貢献するところがきわめて大きい。

よって本論文は農学博士の学位論文として価値あるものと認める。